

多職種協働による在宅チーム医療を担う 人材育成研修ニュース No. 7

西区役所高齢・障害支援課

電話：320-8410

令和5年5月発行

西区役所では、地域包括ケアシステムの推進に向けて、平成27年度より西区在宅医療相談室と連携し「多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修」を開催しています。令和4年度はACPをテーマとした講義とグループワークを集合形式で実施し、西区で医療や介護に関わる多職種の方が顔の見える関係を作り、情報交換する機会となりました。



「多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修」

日時：令和5年2月9日（木）18時50分～20時50分

場所：西区役所3AB会議室

参加者：医師・歯科医師・薬剤師・看護師・ケアマネジャー・介護サービス事業者・
地域包括支援センター職員 ほか

参加人数：44名

講師・内容：①講義「多職種で取り組むACP」渡邊医院 渡辺良先生
②グループワーク 事例検討「進行性疾患のある方の在宅支援」



多職種で取り組むACP

渡邊医院の渡辺先生より、「多職種で取り組むACP」についてご講演いただきました。

「人生会議は、ご本人の望む終末期医療やケアの実現、QOLの向上、さらにご家族や支援者の心理的負担を軽減するためにも行われる」ことや「多職種でACPを行うタイミングや信頼関係が前提となること、ご本人の人生観や死生観、価値観を知ること大切」ということも講義の中でお話いただきました。

人生の最期までその人らしく生きるために、ご本人や家族、多職種でACPを繰り返すことの大切さについて改めて考える機会となりました。

西区で長年在宅医療に携わっている渡辺良先生にご講演いただきました



西区版 ACP ガイド

人生の最終段階において希望に沿った医療やケアが行われるためにあらかじめ考え、話し合う材料としてお使いいただいています。西区医師会やケアマネジャーの皆様のご意見をいただきながら、令和4年9月に作成しました。

ACP(人生会議)とは、将来の医療やケアに備えて、本人の意思決定を基本として家族や信頼のおける人、医療・介護従事者があらかじめ話し合うことです。

事例検討

「進行性疾患のある方の在宅支援」をテーマに、
仮想事例を基に多職種で事例検討を行いました。

ご本人が病院から自宅退院を控えた場面を想定し、

- ① ご本人が自宅退院するに当たり、どのような課題がありますか。
 - ② ご本人の意思を尊重しながら、どのような支援ができますか。
- といった内容をグループで話し合いました。



各グループでは
「ご本人の本当の気持ちを聞き取ること、傾聴が大切」
「ご家族の意向とすり合わせをし、ご家族への精神的なサポートも必要。難病の方を受け入れているショートステイもあるということを情報共有しました」
「急にサービスを入れてご本人は受け入れられるのだろうか…どう生きたいか、それに対し支援者は何ができるか、ACPを繰り返すことが大切だとわかりました」
などといった内容が話し合われました。

参加者からの感想

- ・よりよく生きるために行きぬく、まさにその通りだと思います。
- ・「死ぬ」というより「生き終わる」との言葉に大変感銘を受けました。
- ・寄り添うこと、その周りの人・チームがACPについて一つになって支援することの大切さを学ぶことができました。
- ・様々な職種の多角的な意見を聞くことができ勉強になりました。
- ・保険外で難病の方が使えるサービスがあることを知ることができ、先生の率直な意見も聞いて良かったです。



サービスの契約時や退院の場面等で対象者にお渡しし、
どのような医療やケアを受けたいか一緒に考える
きっかけにしてくださいツールです。
ぜひご活用ください！

もしも手帳

人生の最終段階での医療やケアについて、
自分の考えを残し、元気なうちから考える
きっかけとするための手帳です。



西区版エンディングノート

人生を振り返り、これからの人生を
どう過ごしていきたいか考える
きっかけにするものです。自分自身や大切な
人を見つめ直し、前向きに暮らすために思い
を書き記すノートです。



令和4年度は2年振りに集合型で人材育成研修を開催したこともあり、多くの事業所・専門職の方にご参加いただきました。また、グループワークを通じて日頃の関わりの中では聞けなかったことなども相互に情報交換し、多職種でACPを取り組むきっかけ作りとなりました。西区では令和5年度も、西区アクションプランにも掲げているように、疾病や障害がありながらも医療職・介護職の連携した支援を受け、自らの意思で住み慣れた地域で人生の最期まで自分らしく生きることが実現するよう、西区在宅医療相談室と連携しながら人材育成に取り組んでいきます。

西区の在宅医療・介護連携の取組については、西区のホームページをご覧ください

